

平成27年8月11日

南海電気鉄道株式会社  
和歌山県九度山町

なんかい さなだあかぞな

# 南海・真田赤備え列車、この秋参上！！

## 高野線車両（1編成）と九度山駅を「真田色」に装飾します。

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、高野線山岳区間の活性化策として「こうや花鉄道」プロジェクト※を平成19年から実施しています。

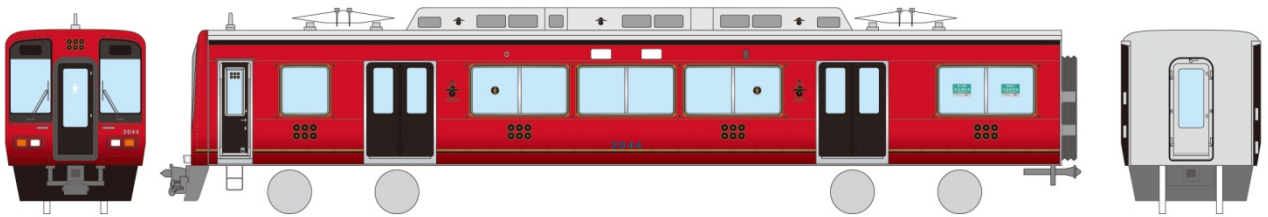
そしてこのたび、NHKの大河ドラマ「真田丸」を契機に、真田幸村蟄居の地である九度山をさらに盛り上げるため、和歌山県伊都郡九度山町（町長：岡本 章）協力のもと、以下の2施策を実施します。

### 1. 南海・真田赤備え列車

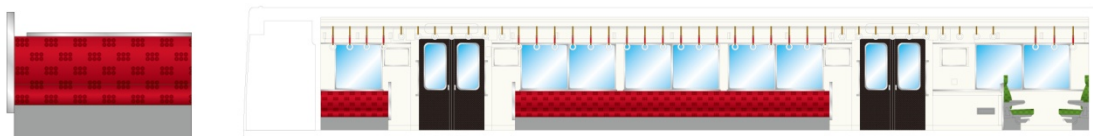
高野線2000系車両（4両1編成）に真田赤備え装飾を行い運行します。

（1）運行時期：平成27年秋から約1年間運行（予定）

（2）外装デザイン：真田幸村の赤備え甲冑をモチーフに「六文銭」や「結び雁金」をあしらひ、甲冑の力強さや美しさを表現しました。



（3）内装デザイン：一般座席は赤をベースに「六文銭」を取り入れたデザイン、優先座席は若草色をベースに、ハートの「六文銭」を取り入れたデザインにそれぞれ変更します。



## 2. 九度山駅舎装飾

九度山町の玄関口・九度山駅を真田赤備え、六文銭などでデザイン装飾を行います。

完成予定：平成27年秋頃予定

デザイン：九度山駅の駅舎やホームを、落ち着いた風合いに塗装するとともに、真田の「六文銭」をあしらった暖簾や幕を掲出し、真田ゆかりの地の特別感を演出します。



デザインはイメージです。

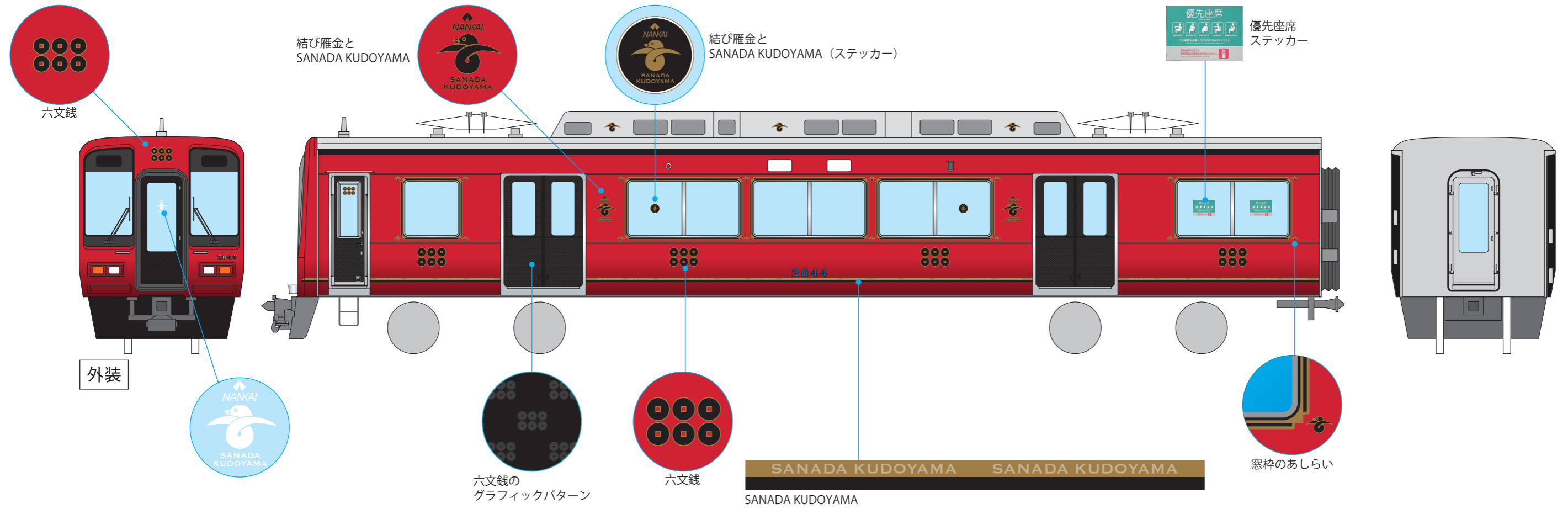
### ※「こうや花鉄道」プロジェクトについて

当社では「こうや花鉄道」プロジェクトとして、高野山という目的地に加え、「そこへ向かう道中」においても鉄道の魅力を作り出し、高野山旅行の「楽しさ」や「期待感」の創出に取り組んでいます。これまでに、駅の「花屏風」設置、橋本～極楽橋駅間での展望デッキ付き列車「天空」の定期運行、高野下駅への「南海思い出ミュージアム」の設置や駅名表示板の刷新などを実施してきました。また、九度山駅においても「九度山真田花壇」を設置するなど、沿線の活性化に貢献しています。

### ◆九度山町について

和歌山県伊都郡九度山町は、南は高野山、北は紀ノ川に囲まれた県北部に位置する町です。町内の慈尊院から高野山へは180本の町石が続く高野山町石道（ちょういしみち・世界遺産）が伸び、古くから高野参詣により栄えてきました。

また、戦国時代に活躍した武将・真田幸村の隠れ里としても知られています。



内装

六文銭の  
グラフィックパターン

